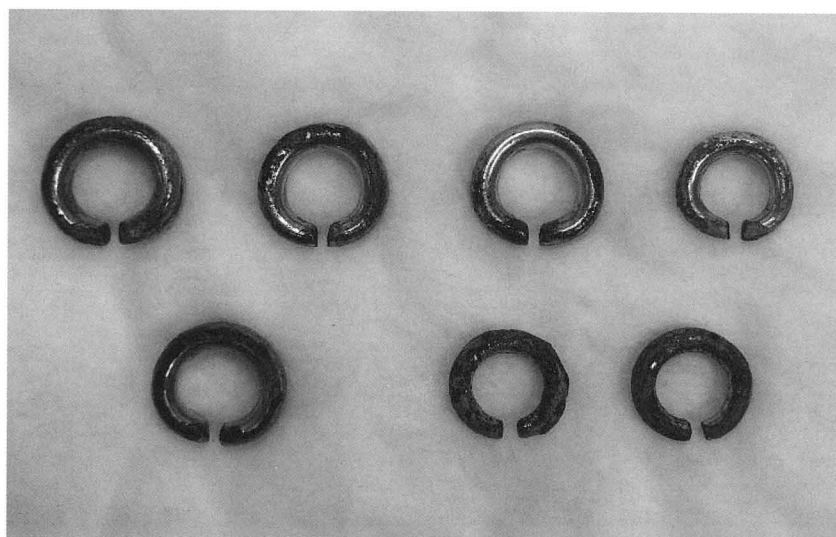


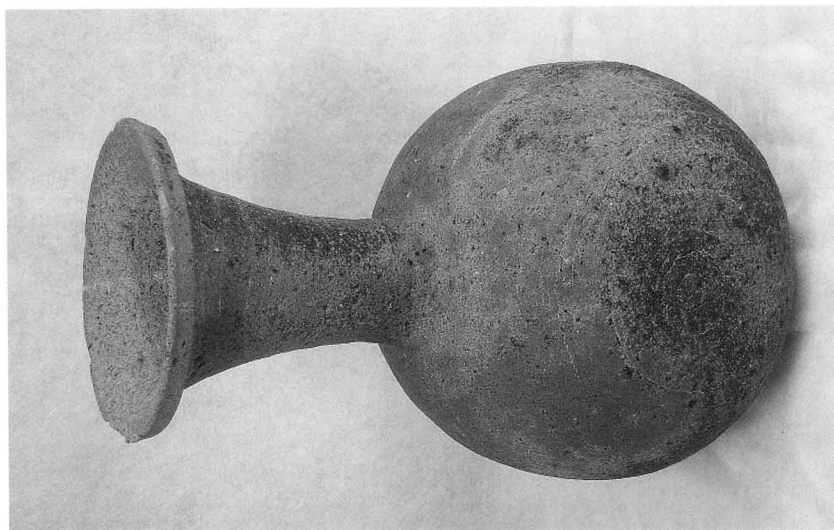
(1) 3号土坑出土土器



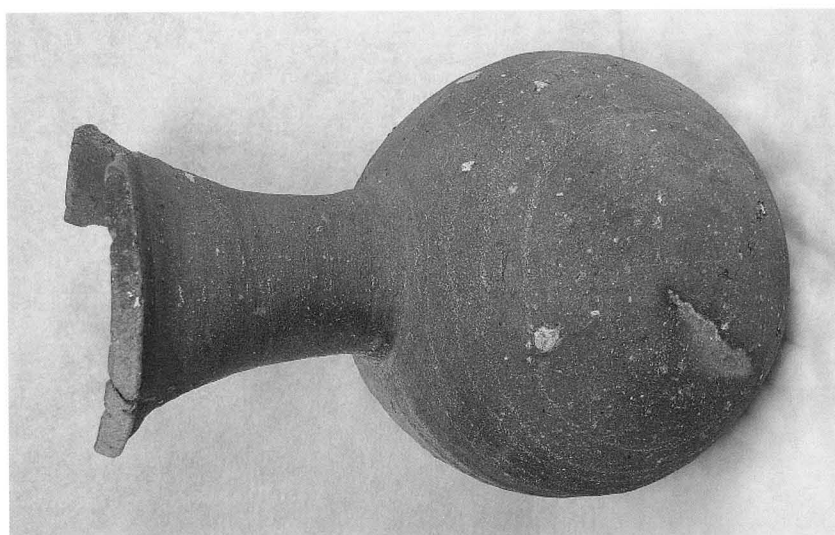
(2) 半過古墳群出土 耳環



(3) 1号古墳出土土師器坏



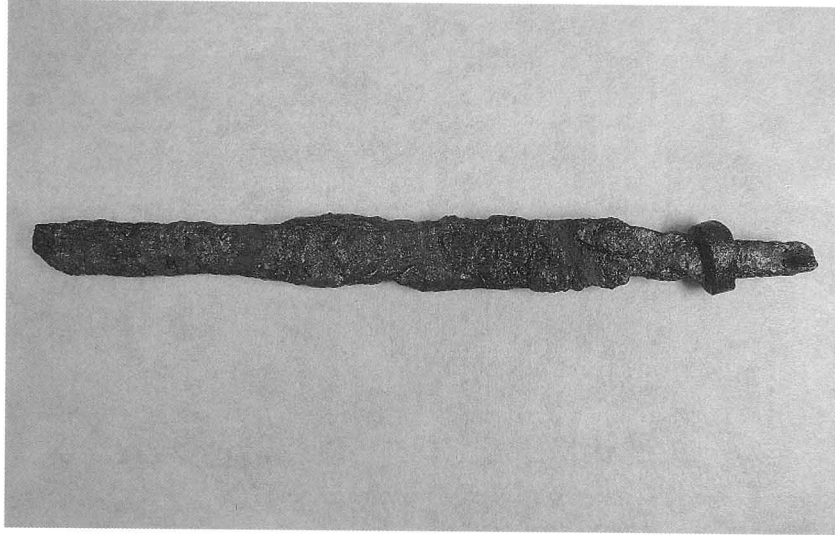
(1) 2号古墳出土フラスコ形瓶 1



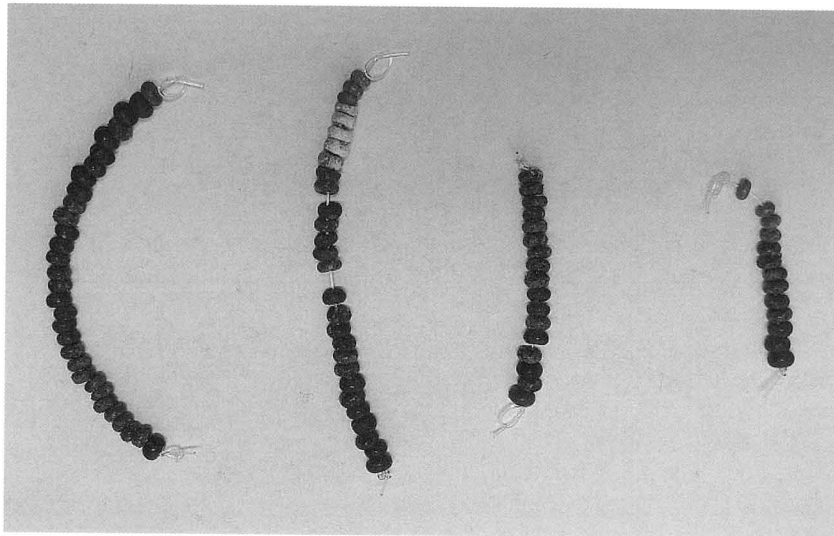
(2) 2号古墳出土フラスコ形瓶 2



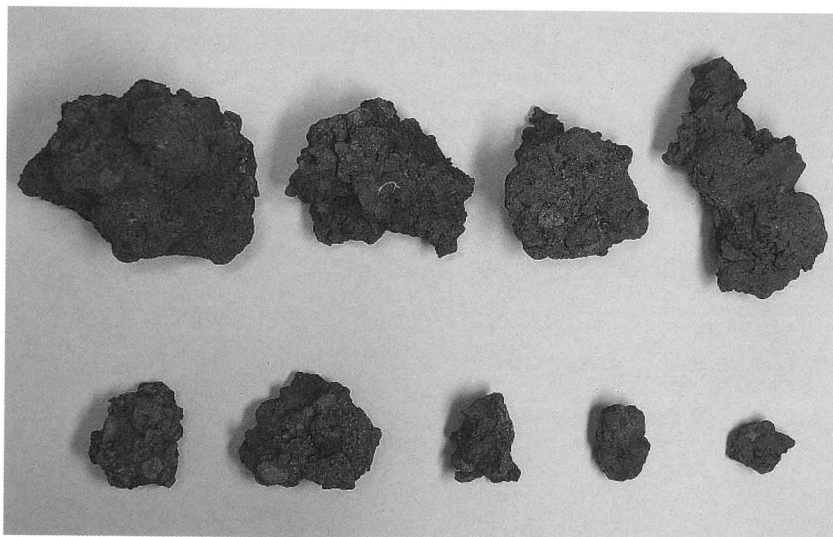
(3) 2号古墳出土土師器坏



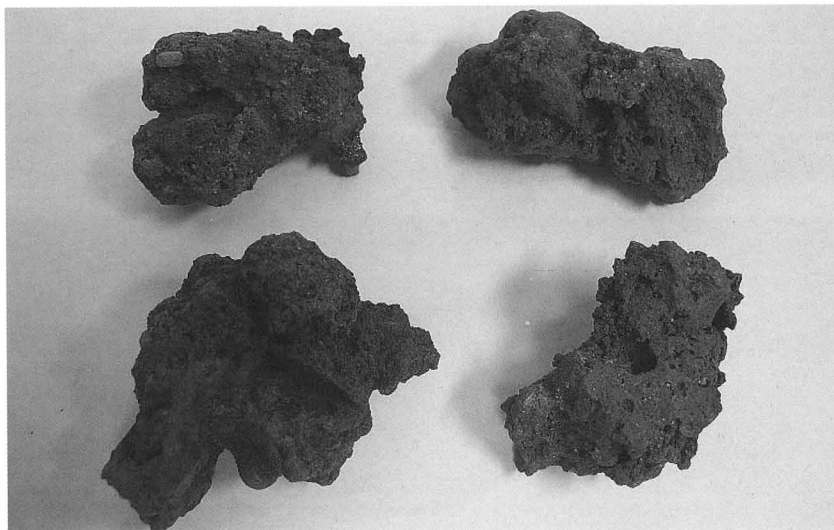
(1) 2号古墳出土短剣



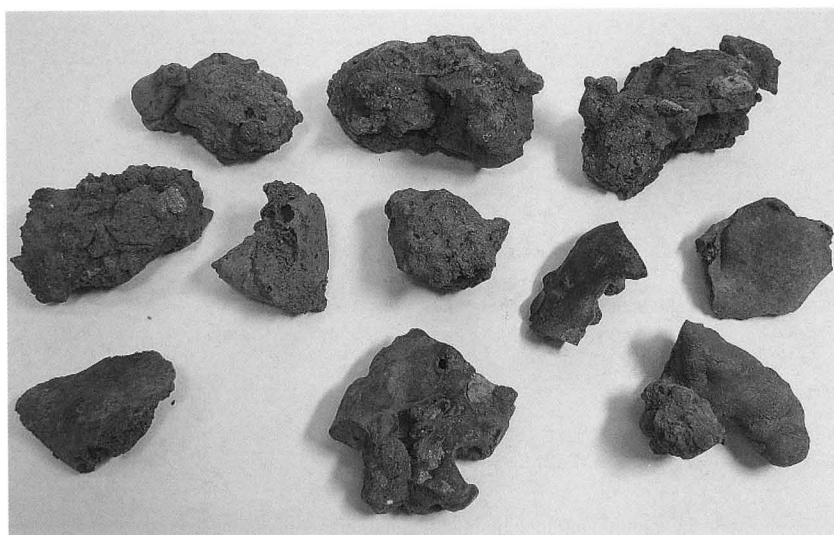
(2) 2号古墳出土ガラス小玉



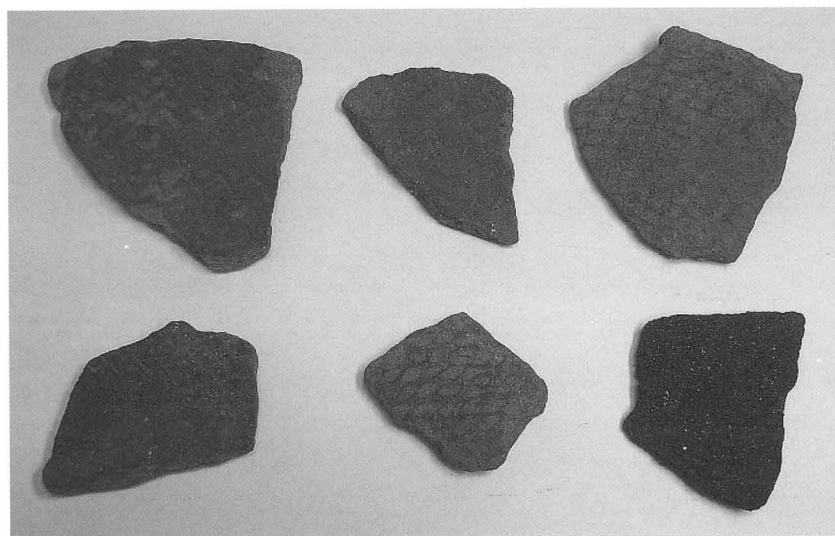
(3) 1号製錬炉出土鉄塊系遺物



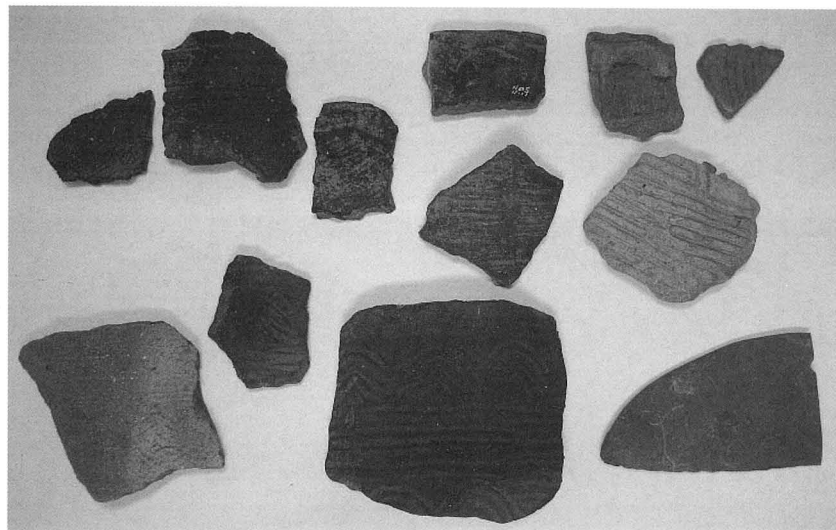
(1) 1号製鍊炉出土炉内滓



(2) 1号製鍊炉出土流出滓



(3) 縄文時代早期の土器



(1) 弥生時代前～中期の遺物



(2) 3号古墳出土人骨（歯牙）の一部

報告書抄録

ふりがな 書名	なかのさわいせき・はながこふんぐん 中の沢遺跡・半過古墳群		
副書名	一般国道18号(上田坂城バイパス)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書		
シリーズ名	上田市文化財調査報告書	シリーズ番号	第105集
編著者名	和根崎 剛		
編集機関	上田市教育委員会 (事務局:文化振興課 文化財保護係)		
所在地	〒386-0025 長野県上田市天神二丁目4番55号 電話0268(23)6361		
発行年月日	平成21(2009)年3月24日		

ふり 所 収 り 遺 跡 が 名	所在地	コード		調 査 期 間	調査面積 (㎡)	調査の原因
		市町村	市遺跡番号			
① なか の 沢 遺 跡	上田市 上半過 字 中の沢	20203	上田 504	平成18年 7月25日 ～ 平成19年 12月10日	3,350	道路建設工事
② なか の 沢 1 号 古 墳 (半 過 古 墳 群 6 号 墳)			上田 508		50	
③ なか の 沢 2 号 古 墳 (半 過 古 墳 群 7 号 墳)			上田 506		200	
④ は な が こ ふ ん ぐ ん 半 過 古 墳 群 10 号 墳			新発見		200	
⑤ は な が こ ふ ん ぐ ん 半 過 古 墳 群 11 号 墳			新発見		200	

所収遺跡名	種別	主な時代	検出遺構	検出遺物	特記事項
① 中の沢遺跡	集落址	縄文早期 ～ 平安時代 (10世紀代)	竪穴住居跡7 基・竪穴状遺構 2基・土坑 基・製鉄遺構1 基・集石遺構3 基	縄文土器(早・ 前・中期)・弥生 土器(前・中・後 期)・須恵器・土 師器・灰釉陶器・ 土師質土器・石器 (石鏃・石斧・石 皿・敲石・石包丁 ほか)、製練関連 遺物	旧市内では類例の少ない、押型文土器や栗林式土器が出土した。縄文時代の遺構はわずかしが検出していないが、黒曜石製の石器が多く出土した。
② 中の沢1号古墳 (半過古墳群6号墳)	古墳	古墳時代後期 と推定	痕跡のみ	なし	かつて鉄剣等が出土
③ 中の沢2号古墳 (半過古墳群7号墳)	古墳	古墳時代後期	石室	人骨・耳環・鉄 器・土師器(坏) ほか	古墳前庭部が明瞭に作られている。出土歯から幼児埋葬を推定。
④ 半過古墳群10号墳	古墳	古墳時代後期 (7世紀 第3四半期)	石室	人骨・耳環・ガラ ス小玉・鉄器・須 恵器(フラスコ形 瓶)・土師器 (坏)ほか	新発見の古墳。木棺の痕跡を確認。出土歯から幼児埋葬を推定。
⑤ 半過古墳群11号墳	古墳	古墳時代後期	石室	人骨・耳環・ガラ ス小玉・鉄器ほか	新発見の古墳。木棺の台石を確認。出土歯から幼児埋葬を推定。

要 約	道路建設工事に伴い発掘調査を実施した。中の沢遺跡からは竪穴住居跡のほか、土坑、製鉄遺構、集石遺構などを検出し、多くの遺物が出土した。なかでも、縄文時代早期の押型文土器や弥生時代前期・中期の土器の出土が目を引く。また、黒曜石の剥片、チップが多く出土しており、石器製作に関わるものと推定した。半過古墳群は2基の古墳の位置を特定し、新たに2基を発見、発掘調査を行った。人骨と耳環、ガラス小玉、鉄製品などを出土したほか、7世紀第3四半期のものと考えられるフラスコ形瓶が出土し、古墳が営まれた時期を考える上で有効な資料である。人骨の鑑定結果からは幼児埋葬の形跡が窺え、家族墓である可能性を考えた。
--------	---

上田市文化財報告書 第105集

中の沢遺跡・半過古墳群

一般国道18号（上田坂城バイパス）改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

発行 平成21年3月24日

発行者 国土交通省関東地方整備局
上 田 市
上田市教育委員会

印刷 一喜堂印刷
